VENDA em BANCA
Nikkey Shimbun
ニッケイ新聞
SÃO PAULO, SÁBADO, 24 DE AGOSTO DE 2013

末永い交流、思い新たに

岩手県人会55周年

達増知事ら慶祝団28人

創立55周年を迎えた岩手県人会は18日、聖市の電気工組合ホールで『55周年記念式典』を盛大に開催、約400人が参集し節目の年を祝った。「ふるさとを思う心を大切に」との当地県人らの想いに応えるかのように、日本からも達増拓也知事ら慶祝団と郷土芸能使節団28人がはるばる祝福に駆けつけた。知事一行は、東日本大震災被災者への支援に度々感謝をのべると共に、「岩手県民は必ず復興します」と宣言し、県民魂を見せ付けた。午後は同使節団のショーで大いに盛り上がり、日伯両国の参加者が一体となった。互いに末永い交流への願いを新たにした、55周年にふさわしい式典となったようだ。

ケーキカット。左から福嶌教輝・在聖総領事、佐々木議長、達増知事、千田会長、岩手出身の菊地義治援協会長

震災復興への協力を確認

県人会関係者をはじめ、パラグアイのイグアス県人会役員や他県人会の役員、日系議員らも祝福に訪れ、会場はほぼ満席となった。

参加者一同は日伯両国歌を斉唱後、先没者と東日本大震災犠牲者に対して黙祷を捧げた。

あいさつに立った岩手県議会の佐々木博議長は、「ブラジル国内で皆さんが高い評価を得ているのは、岩手県民にとって誇り」と賞賛。金ケ崎町の千葉政幸副町長も「若い人が日本文化に取り組んでいて感激」と喜び、伊藤雅章・同町議会議長は「日本から一番遠い国と思えないほど親近感を感じる。百周年目指して頑張りたい」と力強く語った。

続いて、達増知事から長期にわたって役員、婦人部、地方連絡員をつとめた20人に功労者表彰が行われた。また日系3団体（文協、県連、援協）には激励金、県人会には記念品が贈られた。

今回は出席しなかったが、〝歌う水道屋さん〟として親しまれ、歌手活動の売上金を車椅子の寄付にあてている、同県出身で水道工事業を営む秋元清・絢子夫妻から、援協に車椅子3台が寄付された。

県人会も慶祝団代表者らに記念品や感謝状を贈呈。野村アウレリオ聖市議と安部順二連邦下議は日伯友好に尽くしたとして、慶祝団のメンバーらに感謝状を贈った。県費留学生・研修生OB代表の東ヴァネッサさんも挨拶し、同知事に記念品を手渡した。

最後に達増知事が、映像を見せながら「今も3万7千人が仮設・応急住宅に住んでいるが、他地域と手をつなぎ、地域に根ざした復興に取り組んでいる」など復興状況を説明し、ミリアン・オータチ合唱団が県民への励ましをこめ、「復興ソング」を会場に響かせた。

郷土芸能使節団やサンバショー、会食で賑わう会場でビールを仰いでいた田鎖満さん（76、北上市出身）＝聖市在住＝は、「母県との繋がりを保ちつつ、皆がまとまって楽しく会を続けていくことが一世の生甲斐。二、三世に引き継がれて安心」と笑顔を見せた。

23年前に逝去した夫の繁さんが県民だったことで入会した野村寿美子さん（87、茨城）＝聖市在住＝は、「会館がないうちから、婦人部のメンバーとして一生懸命働いた。本当に頑張りました」としみじみ往時を振り返った。

功労者表彰された婦人部の皆さん

郷土の芸能に笑顔あふれ

歌手 福田こうへいさんに黄色い声も

式典後はお待ちかね、今回5回目の来伯となる郷土芸能使節団による公演が開かれた。

踊りの指導者・中川愛子さんの、岩手なまりの軽快な司会で公演がスタート。12人の出演者は皆、ブラジル公演を希望した、岩手県民謡協会のメンバーだ。

尺八、三味線、横笛の伴奏にあわせ、南部よしゃれ節、南部木挽唄など同県の民謡や、秋田船方節、北海道の江差追分など地方の民謡が次々に流れると、会場からは手拍子や口笛がとんだ。

中川さんは、女性さながらのしなやかな踊りを披露した山上衛さんを「3年目で立派に唄って踊るようになった私の内弟子」と紹介、「三世の若者も内弟子になりたければ、3年間飯食わせて鍛えるよ」と言って会場を沸かせた。

プロデビューを果たし、NHKなどで活躍中の福田こうへいさんの出演で会場は更にヒートアップ。福田さんは、35周年時に舞台に立った福田岩月さんの息子で、父が唄った「南部牛追唄」や「南部蝉しぐれ」などを迫力の歌唱力で披露、観客は「がんばれ」「アンコール」などとエールを送った。

前列でポスターをかかげながら夢中で応援していた菊地マリーザさん（72、二世）は、「夫がヤキモチを焼くほど大ファン。有名になっても、いつまでも私たちを忘れないでほしい」と笑った。

（上）花笠音頭で楽しく閉幕。テレビで活躍中の福田こうへいさん

日本とブラジルの友好親善のため

岩手県知事 達増 拓也

県出身者の心のよりどころとして結成された貴県人会が輝かしい発展を遂げられ、55周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

岩手県からのブラジル移住は、90年以上の長い歴史を有しています。この間、移住された皆様は、全く異なる環境のもと、幾多の困難に遭遇されながらも、県人特有の真面目で粘り強い精神をもって克服し、今日のゆるぎない地歩を御地に築かれました。

今日、両国が緊密な友好関係で結ばれ、各分野にわたって交流が展開されておりますのも、ひとえに、皆様方をはじめとする日系同胞の方々が、長年にわたってブラジル社会の建設・発展に、まさに血のにじむような努力を重ねてこられたからにほかなりません。

一方、岩手県におきましては、東日本大震災津波により多数の尊い命が犠牲になり、現在も多くの方々が応急仮設住宅などの不便な暮らしを強いられ、一日も早い復興が望まれています。

県は本年を「復興加速年」と位置づけ、災害公営住宅の整備や産業の再生などの取り組みを加速させています。岩手県人会をはじめとするブラジルの皆様から多大な御支援や心温まる激励のお言葉を頂きました。改めて感謝申し上げます。

復興を成し遂げるため、先人がはぐくんできた文化や心、草の根の地域を繋いできた結いの精神を初めとした岩手に潜在する力を生かし、県民とともに県の発展に努めて参る所存です。

会員の皆様には、今後とも、ブラジル社会の更なる発展に寄与され、日本とブラジルの友好親善のため、一層ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

「ふるさと岩手を思う心」を大切に

ブラジル岩手県人会会長 千田 曠曉

ブラジル岩手県人会創立55周年式典を迎えるにあたり、多数のご出席を得て開催できる事を心から感謝申し上げます。

コロニアも、幾多の困難を乗り越えた初期移民から105周年を迎え、六世から七世へと日本人の血が子孫に受け継がれつつあります。

岩手県の移住は1918年、一関市の小野寺巳代治さんに始まり、以後、2437名が渡伯したと記録にあります。

その後、戦後移住者が県出身者の名簿を一つ一つ書き集め、発会の経緯となりました。同県人の「親睦と和・母県との交流」を図りつつ、名物「わんこそば」や「三陸わかめうどん」など岩手の食文化などを伝えながら、現在では世界の岩手県人会との交流も果たしております。

残念ながら移住者も高齢化し、その生存者も減少しつつありますが、若い会員も運営を盛り上げてくれております。この節目を機に、県人先駆者の「ふるさと岩手を思う心」を大切に、今後も老若会員同士の「親睦を母県との交流を深めて参る所存です。

【ブラジル岩手県人会】

1959年10月11日、千田安治、高橋善導、江差家勝、高橋市太郎、田鎖捨蔵の5氏が発起人となり、各移住地の同郷人会をあつめて「在伯岩手県人会」を発足。71年、「ブラジル岩手県人会」に改称。83年に会館が建設された。県人の心の通う「親睦と和」、そして「母県との交流」を柱に、岩手の食文化の伝承や子弟育成、母県や世界の岩手県人会との交流を行っている。現在の会員数260家族。

それぞれの表彰者

■長期役員活動功労賞
佐々木憲輔　高橋　凡児　藤村　光夫　高橋宏二カルロス

■長期婦人部活動功労賞
小原　アヤ　虎岩　昭子　高橋　好子　上村　敬子　久保　和子　昆野　敏子　千葉　キク　塚田　よし

■長期地方連絡員活動功労賞
切田　諒美　工藤五三郎　高橋　義明　袈田　重雄　川村　秀雄　黒沢　ふじ　大崎　孝行　阿部　安忠

Renovação de sentimentos de amizade duradoura

A comemoração de 55 anos de fundação da Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil, ocorreu no dia 18 de agosto, na sede do Sindicato dos Eletricirários.

Vieram 28 convidados do Japão, liderados pelo Governador e Presidente da Assembleia Legislativa da Província de Iwate.

Foi renovado o acordo de cooperação para o restabelecimento da catástrofe de Tsunami e terremoto do ano passado.

Entre os 400 participantes esteve presente o Deputado Federal Junji Abe, que fez o discurso e a entrega de placa de agradecimento ao Governador e aos membros da comitiva.